安全通信

Vol.153　令和8年11月号

労災が発生した！何をする？

慌てないために、事故発生時の対応を確認しよう

どれだけ安全対策を行っていても、労働災害が発生する可能性をゼロにすることはできません。万が一事故が起きたとき、対応が遅れたり間違ったりすると、被害をさらに大きくしてしまうおそれがあります。

事故が発生したら、まず作業を中止して、周囲の安全を確認します。これは救助者が、感電や酸欠、機械の稼働などによる二次災害に遭うことを防ぐためです。周囲の安全を確認してから、被災者を救助しましょう。被災者の意識や呼吸を確認し、必要な場合は119番通報や応急手当を行います。救助と同時に、職長や元請、自社など、緊急連絡表に従って速やかに連絡します。救助後は、事故現場をむやみに片付けたり変更したりせず、必要な範囲を立入禁止にして現場を保存することも重要です。

労働災害はいつ起こるのか誰にも予測できません。傷ついて倒れている人を目の当たりにすると、誰でも慌ててしまいます。しかし慌てるあまり、適切な行動ができないのは問題です。事故が起きたら何をするのか、誰に連絡するか、救急車をどこへ誘導するかなど、平常時に確認しておきましょう。

今月もご安全に！

安全教育センター

労働災害が発生した時、
慌てず適切な行動をしよう

労災発生後に行う4つの行動

1 作業を止める

2 周囲の安全を確認して救助する

3 119番・関係者へ連絡する

4 現場を保存する

事故発生時こそ、慌てず・安全に・
正しい初動をとろう

©安全教育センター

労働安全衛生速報

2026年 11月 1日号

(1/2)

各労働局長登録教習機関
〔 北海道・岩手・宮城・福島・東京・神奈川・大阪・福岡 〕

企画/編集 安全教育センター

ゼロ災でヨーシ　事故ないよー
TEL.0120-031404FAX.0120-457140
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目10-11 勾当台上杉通りﾋﾞﾙ
TEL.022(267)4207 FAX.022(267)4285
info@anzen-pro.com https://www.anzen-pro.com/
※当センターの許可なく、改変、編集、営利目的の転売を禁じます

〔墜落・転落〕　塗装作業中に屋根から墜落して死亡

2026.9.21

8時20分ごろ、高知県香美市の鉄工所で、男性作業員(56歳)が屋根から約5m下の地面に墜落した。頭などを強く打ち、搬送先の病院で死亡が確認された。同僚5人と屋根の塗装作業中で、屋根の窓に穴が開き、地面に倒れているのが発見された。

〔墜落・転落〕　技能実習生が墜落し死亡

2026.9.21

13時40分ごろ、広島県福山市の工事現場で、インドネシア国籍の技能実習生(22歳)が何らかの原因で高所から墜落した。鉄筋2本が上半身に刺さり、搬送先の病院で死亡した。ヘルメットと墜落制止用器具は装着していた。

〔挟まれ・巻き込まれ〕　ユニック車と駐車車両に挟まれ死亡

2026.9.26

7時10分ごろ、福島県飯館村の建設工事現場で、男性作業員(62歳)が無人で動き出したユニック車と駐車していた車両の間に挟まれた。病院に搬送されたが全身を強く打ち死亡した。ユニック車は本人が現場まで運転して、降車後ユニック車の前方を歩いていたところ無人のユニック車が動き出した。

〔墜落・転落〕

2026.9.26　足場から墜落し骨折の重傷

15時5分ごろ、山形県新庄市の農作業小屋建設工事現場で、男性作業員(73歳)が足場から墜落し、右の頬や胸、腰、太もも骨折の重傷を負った。10時ごろから5人で作業、足場の上で屋根の板張りをしていたところ、約7m下の砂利の地面に墜落した。

〔墜落・転落〕　足場組立作業中に墜落して重傷

2026.10.1

8時55分ごろ、埼玉県秩父市の新築工事現場で、建設会社の男性役員(38歳)が足場から墜落し重傷を負った。平屋の一般住宅内で屋根の木枠をつくるために足場組立作業をしていたが、何らかの原因で約2m下に墜落した。

〔墜落・転落〕　ダム工事現場で墜落し溺死

2026.10.1

13時25分ごろ、石川県白山市のダム工事現場で、男性作業員(48歳)がダム湖に墜落した。救助され病院に搬送されたが約1時間50分後に死亡が確認された。死因は溺死。詳しい原因は調査中。

労働安全衛生速報

2026年 11月 1日号
(2/2)

各労働局長登録教習機関
〔 北海道・岩手・宮城・福島・東京・神奈川・大阪・福岡 〕

企画/編集 安全教育センター

TEL.0120-031404(ゼロ災でヨーシ) FAX.0120-457140(事故ないよー)
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目10-11 勾当台上杉通りﾋﾞﾙ
TEL.022(267)4207 FAX.022(267)4285
info@anzen-pro.com https://www.anzen-pro.com/
※当センターの許可なく、改変、編集、営利目的の転売を禁じます

〔飛来・落下〕 資材が落下し作業員に当たって死亡

2026.10.2

14時50分ごろ、東京都中央区のビル建設工事現場で、男性作業員(55歳)が2階の足場で外壁の点検作業をしていたところ、落下してきた資材が首に刺さり、搬送先の病院で死亡が確認された。落下した資材は外壁用フラットバー(長さ約1m、重さ約5kg)。5階の足場にいた男性作業員(30歳代)も落下した資材に当たり右手首を骨折するなどの重傷を負った。

〔崩壊・倒壊〕 地ならし作業中に崩落して作業員2人が負傷

2026.10.2

15時45分ごろ、沖縄県石垣島の住宅工事現場で、掘削場所の地ならし作業中に土砂の一部が崩落した。男性作業員2人が土砂に埋まるなどして負傷し病院に搬送された。作業員(62歳)が足と骨盤の骨折の疑い、作業員(49歳)が前腕部に擦り傷を負った。

〔書類送検〕 熱中症対策を怠った疑い

2026.10.5

7月23日、大阪府江南町の工事現場で、男性作業員(30歳代)が屋外での作業中に、熱中症の疑いで病院に搬送されたが死亡した。羽曳野労働基準監督署は、作業員が熱中症を発症した場合の報告体制や重篤化を防ぐための手順を事前に整備しなかったなど熱中症対策を怠った疑いで、建設会社と男性代表取締役(54歳)を大阪地検に書類送検した。熱中症の報告体制の未整備での摘発は全国初。

〔感電〕 変圧器設置作業中に感電死

2026.10.8

14時30分ごろ、埼玉県三郷市の物流倉庫建設工事現場で、変圧器の設置作業をしていた男性作業員(56歳)が倒れているのを同僚が、意識不明の状態で発見した。病院に搬送されたが死亡が確認された。「ドン」という音を聞いて見に行ったところ、倒れているのを発見。体からは感電による電撃傷が確認された。詳しい原因は調査中。

〔墜落・転落〕 コンクリート面の洗浄作業中に足場から墜落して死亡

2026.10.9

9時30分ごろ、宮城県女川町、石巻市の女川原発構内の建設工事現場で、男性作業員(36歳)が高さ25m程度の足場から墜落し、意識不明の状態で病院に搬送されたが死亡が確認された。原発へのテロ攻撃に備える「特定重大事故等対処施設(特重)」建設工事。コンクリート面の洗浄作業で移動中に足場から墜落したものとみられる。現場は2号機の建屋近くで、放射線管理区域外。特重は航空機衝突などのテロ行為を想定し、原子炉建屋から離れた場所に設置する緊急時制御室や冷却ポンプなどの施設で、新規制基準で設置が義務付けられた。